

ひまわり通信

SSKS
No.78



東北被災地の施設見学会に参加して

理事長 隅 一 清

世田谷区障害者団体連絡協議会（以下連協）では、毎年区内の障害者施設やひまわり荘等の障害者が利用できる施設を見学しています。

今年には被災地の施設を訪ねて、四年経った現状を見てみようということになりました。

現在、当会が児童の移送サービスをお手伝いしている、北鳥山にある児童デイサービス「ここから」の責任者である北川施設長の全面協力の下、九月六日～八日迄、二泊三日で、南三陸と石巻を訪ねることになりました。

連協加入団体（十七団体）から希望者を募ったところ、当会の参加者が十二名で一番多く、杉田会長の会が八名、北川施設長の職員が十三名、他の団体が一名～二名で、総勢四十四名になりました。

大型バスを連協でチャーターして六日の朝、区役所の職員に見送られて一路東北へ…。

曇り空の下、東北自動車道を北上して仙台へ。仙台に入る頃から小雨が降り出し、ゆうぐれ迫る頃にやっと南三陸さんさん商店街に到着

しました。プレハブ小屋が立ち並ぶ商店街は、雨とあつて、人影もまばらでした。

魚屋さん、日用雑貨店、食堂、酒屋等、通常の商店街ですが、店内は狭く、歩くのがやっとという感じでした。中央には、買ったものを食べられるスペースもありました。

バスは、宿に入る前に、防災センターに立ち寄りしました。この建物は保存が決まったとのことですが、周囲は建物より高く積まれた土

手が広がり、海などはまったく見ることができません。

二軒の民宿



に分散して一日目を終了しました。下道荘では、宿のおかみさんが当時の話をしてくれました。

翌日は石巻に向い祥心会本部で震災から今日までの経過を写真やデータを交えて話して頂きました。

昼食はこの施設が運営するレストランで頂きました。昼食後にテレビの映像で、何度も津波の様子が出された日和山公園に行きました。この公園に逃げた人は全部助かったようですが、眼下の風景は一面の荒地になっていました。すべてを飲み込んで、押し寄せる津波の破壊力をまざまざと見せられたところでした。

今夜の宿は、松島の高台にあるホテル大観荘です。宿に着く頃には本降りの雨となり、館内の案内を聞いてから各部屋に入りました。雨の中、タクシーで海岸の五大堂等を見に行つた人もいます。

夜は宴会場で懇親会と世田谷区内に住み、幅広く活躍している響貴永幸さんのショーが開かれました。

今回の東北施設見学会、色々と学ぶことも多く、企画して頂いた皆様に厚く御礼申し上げます。



高次脳機能障害について

副理事長 員見 芳房

脳卒中や脳外傷で生ずる後遺症の中で、後に習得、学習していた行為や認知の困難は高次脳機能障害と総称されています。高次脳機能障害は同じように行為や認知に困難を示す認知症と似ています。

ただし、認知症は脳卒中中の再発を繰り返す、あるいは大脳の神経組織の変性が進むことで起こります。従って、再発や変性の進行を抑え、現存の能力を保ち、生活の平穏を守ることに認知症に対する支援の目的となります。

一方、高次脳機能障害では大脳の一部の領域に損傷は限定されています。症状は損傷した領域の関与する機能の困難に収束しますので、症状の軽減と生活の再建が高次脳機能障害に対するリハビリテーションの目的になります。今回、病院在職時に家族講座や学生研修用に作成した資料の中から、書く課題でみられた高次脳機能障害の症状をいくつか紹介します。第一の症状は保続です。同じ行為を反復する症状を保続と言います。

書き取りの課題で(しんぶん)も(かわにおちました)も正しく書いた後に「ぶん」「ぶ」「ん」を、また、「した」「た」を書き続けます。

この保続は、正しく書き終えたという意識、心の動きが語尾や文末の文字を書き続ける行為を誘発させた強迫性の症状と考えます。

第二の症状は構成の障害です。構成は、意図した構想に合うように個々の要素を空間上に配置し、組み立てる行為です。

文章を読んだ後の質問の答えとして書かれ

た(若草)も(初夏)も字画は何一つ間違っておらず、書き順も適切です。しかし、文字としてのまとまりが損なわれています。

これらの漢字を書いている際にためらいや修正がみられないことから、構成の行為の他に、その行為の調整を担う注意の認知機能にも低下があったと考えています。

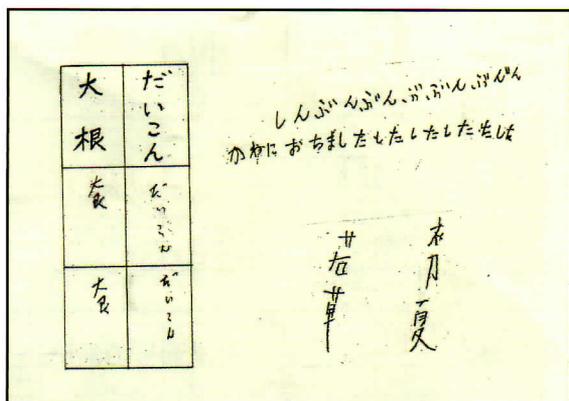
第三の症状は左半側視空間無視です。無視は、目の網膜から視覚神経路を上ってきた視覚情報が認識されないために見えていない症状を言います。

(大根)の模写の課題で漢字(根)の左側の部分が書かれていません。

左半側視空間無視は、近い遠くに拘わらず視野の左側が認識されず、左側の人や物にぶつかる危険を伴います。

高次脳機能障害の三つの症状を紹介しましたが、これらの症状は高次脳機能障害の多様な症状のごく一部に過ぎません。

交通事故や古い看板の落下などの不慮の事故によって私達は高次脳機能障害をこうむる可能性があります。高次脳機能障害のリハビリテーションに励んでおられる人達を支える良き理解者が増えることを願っています。



ひまわり句会

菅野孝夫 選

姉妹会泣き笑ひして花火の夜
秋の雨少し涼しさを連れてくる
年とらぬ夫の墓前に粟と飯
亀井歌子

堀之内 千代

どこからかストンと落ちて昼寝覚
腹筋運動二十三回竹の春
行く雲に秋の気配や地蔵尊
小松原 錦子

小松原 錦子

汗どつと夾竹桃を過ぎてより
薬局と医院真向ひ日日草
錠剤の手より逃げたる秋日和
高橋 民枝

高橋 民枝

味噌汁の熱き喉越し秋来る
遠近に鈴生りの柿鳥鳴く
雲割れてのぞく日差に吾亦紅
宮 沢 みどり

宮 沢 みどり

神楽坂草履の音の暑さかな
辛口の鮭の茶漬けや秋の昼
中秋の名月昭和九十年
大谷 のり子

大谷 のり子

雨三日見ぬ間に伸びて曼珠沙華
丹沢の稜線見せて秋入日
十六夜の電子時計の遅れかな
小田原 郁代

小田原 郁代

蔵の町ひとめぐりして心太
那須高原層通りの秋となる
虫の声せせらぎの音露天の湯

行事報告

◎八月暑気払い食事会

八月二十二日(土)

今年度は自由が丘にあるイタリアンレストラン・パツボアンジェロで開かれました。

このお店のマスターと宇津木さんが友達という関係です。店は二階にあり、店内も段差があり、車イスの方には参加出来なかったのが、来年はまた、新しく、交通の便のいい所を探す予定でいます。和食の店ですと、昼でも四千円以上になります。バイキングなら安い所もあるのですが、手、足の不自由な方の料理も取って上げなくてはならないので、利用できません。料理の方はママアアといったところ：という感想でした。場所柄家賃も高いので仕方ないですね。でも店主のアンジェロさんは被災地でボランティアを何度もやって、テレビにも幾度か出ています。場所柄、店員さんも若くテキパキして感じも良かったです。

参加者

二十六名



◎九月日帰りバスハイク

富士山五合目へ……!

九月十三日(日)

富士山が世界遺産に登録されてから、マイカー登山が規制されて、シーズン中は、麓でシャトルバスに乗り換える事になり、障害を持つ人達には不便になりました。観光バスだと乗り換えで済みます。

朝からパットしない天候でしたが、一路、河口湖から、富士山五合目をめざして、野沢を出発しました。大月から河口湖方面の道路に入ると、雲間からうつつすらと富士山が顔を出してくれました。五合目に到着して外に出ると、身を切る様な冷たい風にビックリ! あわてて、茶店の中へ逃げ込み、ストロブの所へ。

周囲は外国人?ばかりで、中国語や韓国語が飛び交っていました。でも山頂も、下界の雲海も見えて、一同満足でした。

昼食は富士ランドでイタリア料理を頂き、地ビールを飲んで、皆ご満悦でした。帰路は、定番の道の駅や、お土産屋に寄って帰りました。

参加者二十六名



秋の研修旅行

日光江戸村〜那珂川温泉へ

十月二十四日(土)〜二十五日(日)

今年の秋の研修旅行は好転に恵まれました。参加者が少なかつたので、マイクロバスに変更して東北道を日光方面に：途中二ヶ所で事故渋滞に遭いながらも、予定通り江戸村に昼に到着、和風薬膳料理を頂きました。

江戸村の中は様々な催しがあつて、一日楽しめる場所ですが、時間の都合で、一つぐらいしか見学出来ませんでした。那珂川苑は今回三度目の利用で、ふぐ三昧料理と馬刺は好評でした。翌日は近くのながわ水遊園で魚の生態を見学してから、那珂川の大瀬やなで屋食です。あゆの定食は、あゆの塩焼き、田楽、フライとこれまたあゆ三昧?で食べきれない有様でした。やなには、あゆの他にさけ等もかかっていました。帰りはもてぎ道の駅で買い物をしてから、東北道を一路東京に向かって：。中村さん二日間有難うございました。

参加者 十九名



行事予定

◎今年も行くぞ！みかん狩り！

十二月五日(土)

毎年好評の小田原早川のみかん狩りに今年も行きます。昨今、小田原市内は、土日の食事予約が出来ません。並んで順番に席が空いたら、四〜五人で座る状態です。
おいしいみかんを採った後は、おいしい食事を楽しみたいので、場所を考慮中です。

◎日時 十二月五日(土) 九時発

◎行程 野沢〜厚木〜小田原早川〜みかん山でみかん狩り

◎詳細 今回もマイクロバスで行くので、定員は二十名位を予定しています。

◎費用 一人 五千円(移送料別)

バス代、昼食代、一人五キロのお土産付です。

◎区民ふれあいフェスタ展

十二月六日(日)

毎年恒例の区民フェスタが、区民ホールで開かれます。書道、俳句、その他、一年間の行事の写真等が展示されます。

今年新しく始まった、絵手紙教室の作品も展示されます。また当会ではバザーもやっています。皆さんお誘い合せの上、ぜひ来て下さい。

私は朝から場内を駆けめぐっています。



忘年旅行会 (日帰り)

城峯公園の冬桜と紅葉の旅

十二月十三日(日)

今年の忘年旅行会は、冬桜で有名な城峯公園のそばにある「冬桜の宿神泉」で開きます。眼下には神流湖を臨み、紅葉と冬桜の名所として有名です。そばを流れる神流川は、三波石の採掘でも有名で、近くには三波石峡もあり、国の名勝及び天然記念物としても指定されています。

山の宿で、ゆつくり忘年会を開いて、今年をふり返りたいと思います。今年には二十年の節目の年だったので、何かと忙しかったので…。

◎日時 十二月十三日(日) 九時発

◎行程 埼玉県児玉郡冬桜の宿 神泉(かみいずみ)

◎会費 一人 八千円

(宴会食事代、バス代、高速代、保険料他)

*自宅〜野沢迄の移送料は別途

*参加希望者は十一月三十日迄に事務所にお申し込み下さい。人数が少ない場合は観光バスではなく、マイクロバスを使用します。



編集後記

常日頃から、年をとったら絶対に転ばない様に…と周囲の人に注意をして、自分もいつも心がけていたのに…。十月上旬に、外出先で、コンビニの店先にある車止めに足を取られて横に転倒して左半身を強打しました。

すぐに近くの救急病院でレントゲン検査をした結果、骨折はなく、全治二週間位と云われて帰宅、普段から血液サラサラの薬を飲んでいるので、左半身が皮下出血してアザだらけの状態でした。

痛み止めの薬はアルコール駄目とかで、痛み止めを飲まず、アルコールで我慢の日々？

一週間位から、歩行困難位の痛みで、足を引きずりながら店番。毎晩、毎朝湿布を張替えて二週間を過ぎたあたりから痛みも少なくなり、歩行も普通に出来る様になりました。

それにしても骨折して、寝たきりにならないで良かった…と今更実感しています。

十月末に、めでたく？傘寿を迎えることが出来、大事に使えば、あと五年、十年は持つ？を信じて、これからも、気をつけて

頑張りマース！ S記

「ひまわり通信」78号

2015年11月10日発行

編集 特定非営利活動法人

編集責任者 ヒューマンハーバー世田谷

住 所 世田谷区野沢3-4-18-102

T E X 03-34487-5081

F A X 03-34422-9281

発行人 障害者団体定期刊行物協会

世田谷区砵6-26-21(定価100円)